



# 真木レポート 第11号

平成26年6月定例会での活動のまとめをお伝えします。

メール [dai@makidaisuke.jp](mailto:dai@makidaisuke.jp) 電話/FAX 048-234-8435 郵便 戸田市大字新曽1057-803

今回は、主に6つの提言を行いました。そのほとんどは、市の予算を掛けずに高い効果が見込める施策です。

## 一般質問① 安全

### 保育園で起きた事故情報の共有を！



▲ハインリッヒの法則：1件の重大事故の背後には、多くの小さな事故が隠れています。

保育施設における子供の事故を防ぐためには、「日常の安全管理」のほかに、「事故やヒヤリ・ハット事案を記録・共有し、職員の安全意識を向上させる取り組み」が必要不可欠です。しかし、市はそもそも民間保育園での事故を把握しておりません。

利用者にとって、市から認可園として紹介された民間保育園を選ばざるを得ない状況であることを考えれば、市は民間保育園での安全確保にも努めるべきです。

そこで、「事故報告書の提出」と「事故情報の共有」の制度化を提案し、執行部からは「事故防止に有効。民間保育園にお願いしていく。」との答弁を得ました。

## 一般質問② 安全

### 組体操の安全対策とAEDの周知を！

近年、運動会で行われる「人間ピラミッド」の危険性が取り沙汰されています。

昨年度に全国の小学校で起きた全50種目の事故データ(下表)を見ると、人間ピラミッドを含む組体操の事故件数と負傷箇所の危険性は群を抜いています。

	バスケットボール(通年)	組体操(運動会のみ)
1学年あたりの負傷・疾病件数	7,181件 (1位)	6,540件 (2位)
負傷部位の割合[頭部、体幹部]	1.6%、1.9%	8.2%、22.4%

「労働安全衛生規則」では、2m以上での作業には厳格な安全管理(ヘルメット、手すり、防護ネット等)が要請されるのに対し、組体操ではそのような対応はとられず、また、組体操は指導要領への記載がないために実施しない自治体もあります。

議場で市の見解を求めたところ、「安全対策に万全を期す。」との答弁を得ました。

また、小中学校の運動会や市内の各種運動大会における「開会式でのAED設置場所のアナウンス」を提案し、「周知するよう徹底する。」との答弁を得ました。



▲小学6年生の人間ピラミッド：観覧者に感動を与える集団演技ですが、その裏に危険性が潜んでいることを見落としてはいけません。過去には、死亡や後遺症によって賠償問題となった事例もあります。

## 一般質問③ 安全

### 公園物置の地面固定化を！

今年の2月、市内の公園や広場に設置されている物置が強風により転倒しました。物置のまわりでは子供たちが隠れんぼをしたり、物置によじ登ったりすることがあります。また、近年は突風や竜巻が増えていることもあり、なおさら対策が必要です。

これらの物置は、市が設置者に対して「占用物件」としての許可を与えているものですが、その際に地面への固定義務はありません。一方で、市が公園や広場に設置している遊具やトイレはすべて地面に固定されています。

議場で「設置者の費用負担による、すべての物置の地面固定化」を要望したところ、「固定化することは望ましい。設置者に対して固定化のお願いをし、今後のチェックも行う。」との答弁を得ました。すでに、一部の物置の固定化が始まっています。



▲転倒した物置：道具の入った物置は重く、子供が下敷きになると大変危険です。

## 一般質問④ 安全

# 自転車前かごに《自転車は左》掲示を！

自転車事故の7割は交差点で起きています。その原因の多くは「自転車の逆走」です。なぜなら、**交差点に出入りするクルマから見て、クルマやバイクの流れと逆行する右側通行の自転車は認識しづらい**ためです。

そこで、左側通行の徹底により自転車事故を減少させるため、「市職員・教職員が乗る公用自転車の前かごへの《自転車は左》の掲示」を提案したところ、早速7月に、街頭啓発キャンペーン等での試験運用が開始されました。

今後も引き続き、自転車の「ルール啓発」と「インフラ整備」の提言を行っていきます。  
〔追記〕本提言が「第9回 マニフェスト大賞」政策提言賞を受賞いたしました。



▲《自転車は左》の掲示：乗る人が左側走行を徹底するだけでなく、対面ですれ違う逆走自転車に対する「動く啓発物」にもなります。

## 一般質問⑤ 子育て

# 子育て情報提供の充実を！



▲豊島区の「ママフレ」：子育て情報が探しやすい、他市とのサービス比較も容易です。

子育て施策の充実とともに、子育て情報提供の充実が求められています。戸田市が昨年度に実施した子育てアンケートにおいても、「**どんな支援が受けられるのかについて継続的に情報提供して欲しい。**」等のご意見がありました。

そこで、保護者の方々から頂いた要望も踏まえ、以下の改善策を提言しました。

- ① 『戸田市 子育て応援ブック』の更なる内容充実
- ② 子育てサイト「ママフレ」への参加
- ③ 里親制度の紹介ページの作成
- ④ 小児科・歯医者等の診療時間やホームページリンク一覧を掲載したページ作成

特に、②の「ママフレ」は、民間企業が広告料で運営する子育てサイトで、自治体の費用負担は「0円」の官民連携事業です。早期の運用開始を期待しています。

## 一般質問⑥ 行財政

# 子育てアピール看板の設置を！



▲宇都宮駅前に設置された看板：「自転車のまち宇都宮」を上手にアピールしています。

「若年女性人口の減少により、2040年までに消滅する可能性のある市区町村は、全国で約900にのぼる。」との研究結果が発表され、大きな話題となりました。自治体の生き残りをかけ、**今後一層、若い世代の取り合いが起こると**予想されます。

例えば、戸田市文化会館でコンサートが開かれる際には、市外からの若い世代が戸田駅までの路地を大人数で移動しています。そのような場所に**子育てアピールの看板を設置すれば、若い世代へ戸田市の良いイメージを刷り込む**ことができます。

この提案に対し、執行部からは、「**大変効果的なシティセールスの手段と考える。設置を検討する。**」との答弁を頂きました。



▲会派「戸田の会」の意見交換会の中で、私の1年半の活動報告を行いました。

## 真木大輔（まき だいすけ）

戸田市議会議員/1期目/無所属(党籍・党歴なし)

戸田の会 副代表/文教建設常任委員会・交通対策特別委員会 など

## プロフィール 和を以って貴しとなす

32歳・既婚/茨城県日立市出身/水戸一高卒/東京大学(教養学部)卒/  
東大大学院(駒場素粒子論)中退/講師業・投資業/菅原文仁県議に師事

## 4大政策 戸田の未来をつくるために

**教育** 自立し協力し合える力を **行財政改革** 長期展望を持って

**子育て** 子育てしやすい社会に **安全** 日常生活も防災も

**市政に関するご意見は、メール・SNS等にてお気軽にお寄せ下さい！**